

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	渡辺 雅照
ホームページ	http://www.tvoyama.ne.jp/yamanoi.takashi/	編集者	山野井 孝
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発行日	2017年1月1日

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃からの皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。

市民が安心して暮らせる小山市をめざして、取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

平成28年第4回市議会定例会が1月29日～12月22日の日程で開催され、全16議案が原案通り可決されました。

また、初日に6回目となる議員提出議案『角田良博議員に対する辞職勧告決議』を提出、全会一致（反対0）で可決されました。



会派代表質問に登壇

【主な議案】

<平成28年度小山市一般会計補正予算（第2号）>

今回の補正は、14億4,616万5千円を追加するものです。

主なものは、債務負担行為補正として『学校用AED（自動体外式除細動器）賃貸借』、『旧小山市市民病院一部施設解体事業』、『小山市立中央図書館窓口業務委託』など10件を追加、地方債補正では『市街地再開発事業』を追加、『団体営土地改良事業』など5件を変更、『旧小山市市民病院一部施設解体事業』を廃止するものです。

歳入増減の主なものは『法人市民税』約6.9億円減額、『地方交付税』約2.8億円減額、『国庫支出金』約9.1億円増額、『県支出金』約1.3億円増額、『繰越金』約12.6億円増額等となっています。

歳出の主なものは『臨時福祉給付均給付事業費』約3.8億円、『障がい者自立支援給付費』約1.8億円、『民間保育所入所委託料』約2.4億円、『城山町二丁目第一地区市街地再開発事業費』約2.4億円等となりました。

毎年、12月議会では国庫支出金・県支出金による、社会保障費を中心とした大幅な補正予算が計上されています。今年も同様の補正予算となりました。

【常任委員会行政視察】

10月24～26日にかけて、建設水道常任委員会の行政視察に参加しました。

・下水道バイオマスエネルギー利活用事業（富山県黒部市）

下水道汚泥・農業集落排水汚泥のほか、家庭の生ごみ、近隣の飲料メーカーのコーヒー粕を混合し、バイオガスを発生させ、汚泥の乾燥・発電を行う自己完結型のプラントを整備。



・リース方式による道路照明灯のLED化（大阪府枚方市）

枚方市が管理する道路照明灯のうち約2200基をリース方式によるLED化する。

LEDによるコスト削減、リース方式による初期投資抑制、温室効果ガス削減を実現する。



・新庁舎建設について

（兵庫県三田市）

新庁舎建設を庁舎整備基金のみで行うため、工事費の縮減を実現。また、オフィスレイアウト、サイン計画等、パブリックコメント等による、市民参加・市民評価で市民の声を反映。



【市政一般質問】

1. 平成29年度予算編成方針について

Q：小山市予算編成方針で示された『50万中核都市』で描く都市像について伺いたい。

A：『小山地区定住自立圏』を核として、隣接する地域や自治体との幅広い連携・協力体制を構築して『50万中核都市』をつくっていききたい。

Q：『50万中核都市』実現のための下野市・野木町・結城市との取り組みについて伺いたい。

A：『小山地区定住自立圏』構成市町間の垣根を低くして、4市町間で合意された『定住自立圏共生ビジョン』に掲げる51の事業を推進していく。

Q：平成29年度予算規模は610億円程度となっているが、歳入見込みについて伺いたい。

A：市民税が5.0%減の117億円、固定資産税が125.6億円、都市計画税が17.7億円、軽自動車税が9.9%増の3.4億円などを見込んでいる。

Q：収納率向上に向けた取り組みについて、新たな取組み等があったら伺いたい。

A：不動産公売や差し押さえ推進のため、ノウハウを持った国税庁OBの採用、弁護士やファイナンシャルプランナーと連携して、生活改善型滞納整理手法の調査・研究を進める。

Q：来年度予算における歳出構造改革に向けた具体的な取組みについて伺いたい。

A：今後も、民営化や民間委託、指定管理者制度の活用を推進していく。さらに、不要不急な事業の廃止・先送り、借り換えによる公債費の削減などに取り組んでいく。

Q：過度に人件費比率の削減を前面に出すと、優秀な職員確保に影響があると心配している。

また、職員の採用は臨時職員ではなく、正規職員を採用すべきと思うが、考えを伺いたい。

A：職員採用試験の受験者数は従来と変わらず、人材の確保には影響ない。また、臨時職員は一時的に人員が不足している業務など、正規職員の採用とは違う目的で採用している。

Q：『小山市公共施設総合管理計画』を基に策定する、『マネジメント計画』の進捗状況は。

A：『公共施設等マネジメント推進計画』は平成28～29年度の2カ年で策定し、平成30年度から実施する。推進にあたり、公共施設の統廃合を含めた再編計画などを示したい。

Q：来年度予算編成方針に重点項目として提示された、市立体育館の進捗状況を伺いたい。

A：市立体育館とレジャープールの『2施設一体による事業の民間活力導入可能性調査』を、再度実施し、年度末の調査結果を待って、事業の方向付けをしていく。

Q：コミュニティFM放送局整備について、災害時以外にどのような内容の番組とするのか。

A：通常時の放送内容は、市役所からのお知らせ、地域でのイベント情報など、市民の生活に役立つ身近な情報を発信し、地域コミュニティが活性化する番組放送を心掛ける。

Q：『おもてなし施設整備（渡良瀬遊水地体験交流施設）』について、どのような施設なのか。

A：『研修・体験交流施設』『農村食堂』『直売所』『加工施設』などの施設を計画し、観光客の呼び込み、インバウンドの対応など、地元の意向を踏まえた計画を検討する。

2. 新小山市民病院周辺整備について

Q：本年1月4日に開院した『新小山市民病院』に向かう主要道路からのアクセス看板がなく、どこを曲がれば良いのかわからない。現在の設置状況について伺いたい。

A：案内看板について、市道28号線や30号線に3基、県道33号線に2基設置した。国道4号線の案内看板は国道・県道の整備状況を踏まえ検討していく。

Q：新小山市民病院へのアクセス道路である市道30号線には街灯が少ないため、暗くて危険を感じる。以前にKDDIが設置した街灯を利用して点灯させることはできないか。

A：設置されている街灯の再点灯についてKDDIは、街灯を市が活用するのであれば協力したいと回答している。また、隣接地で大規模住宅開発が予定されているので、開発業者と街灯設置について協議している。

【市政相談】

地元の小山二小の子どもたちの通学路である市道に左方の見通しが悪いT字路があり、また、新たなスーパー出店で交通量が増えることが予想されることからカーブミラーの要望があり、市生活安心課に設置していただきました。

近隣にお住いの皆さんやお母さん方からは、とても見通しが良くなり、安全になったとの声をいただいています。

